

オカピ通信

第11号
(2024年4月
活動まとめ)

サキガケ日置市(移)民

2年間の活動を終えて

2022年6月の着任から2年

日置市の地域おこし協力隊の新しい形、「サキガケ日置市(移)民」第1号として2022年6月に着任して2年、2024年5月で私(岡田香織)はサキガケ日置(移)民を退任いたします。

月8日程度の活動日数、活動地域は日置市全域、活動テーマは市職員と協議しながら決めていく、と、一般的な地域おこし協力隊とは大きく異なる。

なるサキガケ日置市(移)民制度。オカピの活動を振り返ります。

「プラスチックの人」

私が活動のテーマにしたのは「プラスチックごみ」。市内で発生するプラスチックごみを新たなメイド・イン・日置の製品に再生させることで、プラごみの新たな循環の流れを生み出す活動をしました。



プラスチックのことを考えて暮らす人が増えていたらいいな

市内各地で回収したキャップや、吹上浜で拾った海洋プラから作るカラフルな製品は、市内外の多くの方の目に留まったようで、時折メディアの取材を受けたりもしました。

モノづくりのほかに、お話しやワークショップ、映画鑑賞会など、プラスチックやその問題について知る機会の提供も行いました。吹上浜が身近な日置市の皆さんは、特に海洋プラ問題のお話などを真剣に聞いてくださいました。

日置市での生活も満喫

活動のほかに、日置市での暮らしも満喫しました。気候は温暖で野菜は美味しく、疲れた時には温泉に気軽に入れる。いいところ満載の日置市ですが、なにより素敵なのは、会う人がみんな優しいこと。笑顔で声をかけてくださる皆さんのおかげで、2年間気持ちよく過ごせました。

鹿児島で「プラ」続けます

任期終了後は日置市の隣、南さつま市に活動拠点を移します。吹上浜のすぐ近くの福祉施設で、職員として利用者さんとプラごみリサイクル製品の製作に取り組みます。

そのほかにもプラ問題を考えるキッカケとなる、あんなことやこんなことを計画中。

活動報告会を行います

5月18日(土)午後1時半から午後4時半まで、日置市(移)民の活動報告会を行います。前半の映画鑑賞会は参加費千円、3時55分からの活動報告会は参加無料です。ぜひご参加ください。

オカピの目

サキガケ日置市(移)民は退任しますが、オカピの活動は終わりません。オカピ通信も続けていきます。公民館に掲示しやすいように壁新聞の形式で作っていただきましたが、もう少し書きやすく、読みやすい形式に変更する予定です。今後のオカピ通信は、インスタグラム(okapi.plastic)やfacebookで発信するので、見てみてください。プラスチックごみの地域での活用がしたい、とやってきた日置市。想像していたより多くのことを経験し、充実した2年間となりました。任期中ほぼずっと担当してくださった市役所の職員さんはサキガケ日置市(移)民制度の発案者。活動のことから暮らしのことまで、オカピの日置市での生活を支え、導いてくださいました。大感謝です。

オカピ通信に載らないあれこれ、インスタグラム(okapi.plastic)で発信中。チェックしてみてください。

ひよし図書館で たのしい工作縁日



4月11日に、日吉中央公民館でひよし図書館主催のアップサイクル工作教室が行われました。昨年末に引き続き、日吉町在住のダンボール工作の先生、大塚さんと一緒に講師をしました。今回のテーマは縁日。プラスチックの肥料袋を熱で張り合わせて獲物を作り、魚釣りあそびをしたり、ダンボール製のパチンコで手描きの的を射たり。参加した子供たちは皆、最後まで楽しんでくれました。それぞれの創意あふれる作品にはびっくり。捨ててしまうものもアイデア次第でまだまだ楽しめる、と感じてもらえていたら幸いです。

詳細・申込はQRコードから



製作: 岡田香織 (サキガケ日置市(移)民) 〆意見等はokadakaori.p@gmail.comまで。